

〔和漢三才圖會九十四本〕飛廉 木禾 飛雉 飛輕 伏兔 伏豬 天薺 和名曾曾木、一云布保

保天久佐略中

按漏蘆飛廉攝州田野間有之、而識者用者共希也、唐漏蘆頗似遠志、而不似細牛蒡、近年不來

〔重修本草綱目啓蒙十草〕飛廉 ソ、キ、鈔、和名 フホ、テクサ同上 オニノマユハキ オニアザ

ミ、ヤハズアザミ、ヒレアザミ 一名飛廉蒿附方

夏ノ末子生ズ、葉ハ小薊葉ニ似テ黃綠色刺多シ、秋冬ハ地ニ就テ叢生ス、春ニ至リ漸ク臺ヲ抽テ

三五尺ニ至ル、枝葉共ニ互生ス、莖ニ薄キ羽數條起リテ、鬼箭羽ノ如ク更ニ刺多シ、陶氏ノ説ニ、葉

下附莖輕有皮、起似箭羽ト云是ナリ、夏至テ枝ノ末ゴトニ花ヲ開ク、小薊花ニ似テ小ナリ、見ニ

足ラズ、花後白絮トナリ、風ニ隨テ飛ブ、絮ゴトニ一子アリ、落ル處即生ジ、苗根共ニ枯ル、白花ノ者

ハ多アリ、紫花ノ者ハ少シ、

苦芙

〔本草和名十一〕苦芙 楊玄操音 一名鉤芙、出釋 和名加末奈、一名加美於古之奈、

〔倭名類聚抄二十〕苦芙 本草云、苦芙、鳥老反、和名加萬奈、

〔箋注倭名類聚抄十〕蜀本圖經云、子若貓薊莖圓無刺、李時珍曰、芙大如拇指、中空、莖頭有臺似薊、初

生可食、引造化指南云、苦芙大者名苦藉、葉如地黃味苦、初生有白毛、入夏抽莖有毛、開白花甚繁、結

細實、其無花實者、名地膽草、汁苦如膽也、又曰、凡物穉曰芙、此物嫩時可食、故以名之、

〔和爾雅七〕苦芙 サハア、鉤芙、苦

〔和漢三才圖會九十四本〕苦芙 ゆゑみ 略中

按苦芙原野濕地多有之、花淺紫似薊而瘦、葉亦色淡不繁、莖無刺、稱女阿左美、以薊名、鬼阿左美、

一種有菊薊者、莖葉似苦苣、而莖有白汁、至秋高三四尺、開黃花似八重小菊、而美、葉似苦苣、及苦芙、

〔重修本草綱目啓蒙十草〕苦芙 カマナ カミヲコシナ以上古名 ヒメアザミ トチナ加州 ヘラ